

第6回 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議ワーキンググループ

議事要旨

1. 日時：平成28年1月26日（火）11:45～12:15

2. 場所：官邸2階小ホール

3. 出席者：

菅内閣官房長官（座長）、石井国土交通大臣（座長代理）、萩生田内閣官房副長官、世耕内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、古谷内閣官房副長官補、松永内閣官房内閣審議官、蝦名内閣官房内閣審議官、山崎内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官、安藤総務省大臣官房総括審議官、井上法務省入国管理局長、新美外務省大臣官房国際文化交流審議官、佐川財務省関税局長、村田文化庁文化財部長、福田厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長、岩本農林水産省農村振興局審議官、安藤経済産業省商務情報政策局長、田村国土交通省観光庁長官

4. 議事概要

○事務局より参考資料（事務局ヒアリングにおける有識者の主な指摘ポイント）を紹介後、田村観光庁長官より資料1（これまでの議論を踏まえた検討課題（案））を説明。主な内容は以下の通り。

- ・「観光の魅力を高め、地域の活性化へつなげる」については、文化財の活用、国立公園の活用、欧米豪向けプロモーションの戦略的高度化、地方空港の活性化、「観光まちづくりファンド」をはじめとする投資、資金供給の仕組みの創設等について検討が必要。
- ・「観光産業を改革し、我が国の基幹産業を目指す」については、観光人材の抜本的育成・強化、観光関係の規制の総合的な見直し、国際会議や展示会等 MICE の誘致の促進等について検討が必要。
- ・「すべての旅行者がより快適に観光を楽しむための取組を進める」については、最先端技術を活用したCIQの実現、宿泊施設の不足に対する対応、決済環境、無線LAN環境の改善、情報コンテンツの充実、若者が旅行をしやすい環境の整備・普及、観光施策に充てるための財源の確保等について検討が必要。

○観光庁からの説明を受けて、訪日外国人旅行者数2000万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代に向けて大胆なビジョンを打ち出していくこと、訪日外国人旅行者の急増に対応する短期的な施策と中長期的の施策を分けて考えていくこと、「世界との競争」を意識して施策を検討していくことが共有された。

○次回日程については追って連絡することとし、閉会となった。

以 上